インフォメーション

2025 年 10 月 7 日

フロードリルスクリューに関するアトラスコプコ㈱との共同特許出願が登録査定となりました。

昨年 5 月 20 日に報告の通り、スウェーデンに本拠を置く大手産業機械企業の Atlas Copco AB のグループであるアトラスコプコ株式会社とフロードリルスクリュー(注)に関する共同特許出願(特願 2024-069552)を行いましたが、日本国において登録査定となりました。

今後は、登録料を納付し、特許権を確保いたします。また、これを利用し、量産商談を獲得できるように努めてまいります。

(注)

フロードリルスクリューは、アルミ板や高張力鋼板を接合する際に用いられます。一般的なねじやドリルねじとは異なり、相手材や接合する板には穴はなく、片方向から専用の機器を使用し、高回転で相手材を軟化、変形させながらねじ込み接合する技術です。欧米では自動車産業を中心に用いられており、日本でも最近注目されている技術です。

今回共同開発されたフロードリルスクリューは特殊なねじ山の配列を持ち、締結体間に隙間が生じやすい課題を改善しています。

■アトラスコプコ株式会社について　-

所在地:東京都港区芝公園 1-1-1 御成門タワー8F

代表取締役:梁　延　峰　(リアン　ティン　フン)

https://www.atlascopco.com/ja-jp

スウェーデンのストックホルムに本社を置くアトラスコプコは、180 ヶ国以上へ事業展開する世界規模の産業機械企業グループです。事業エリアは、コンプレッサ、真空、インダストリアルテクニーク、パワーテクニークの 4 分野です。

アトラスコプコのパーパスは「私たちの産業アイデアは、お客様が成長し社会を前進させる力を与えます。このようにして私たちはより良い明日を創造してまいります」。「First in Mind-First in Choice」をビジョンに、ビジネスを展開しています。

日本法人は 1979 年に設立されました。世界的には 100 年以上に及ぶ販売実績があり、お客様のニーズに合った機器の選定から、導入、アフターサービスに至る一連のソリューションを提供し、革新的でサステナブルな生産性に貢献しています。

以上